



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

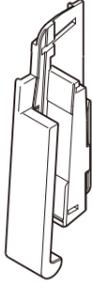
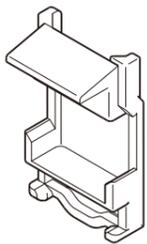
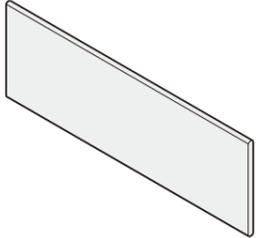
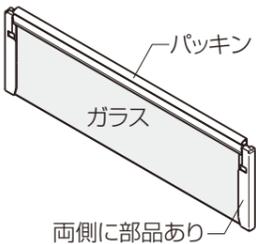
▲注意

- 本製品には必ず指定の専用ガラスを使用してください。室内側ガラスは、付属のパッキンを取付けるための加工が施され、端部にはホルダーからのガラス抜けを防止する部品が取付けられています。指定外のガラスを使用するとガラスが抜け、ケガをするおそれがあります。
- 本製品は、最大重量が約45kgになります。組立ては対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上へのお願い

- 本説明書は組立て順序A「通常の組立て方法」と組立て順序B「枠を躯体に取り付けてからガラスを建込む場合の組立て方法」の2通りの組立て方法を記載しています。組立て方法に応じてご覧ください。
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。
- 枠を躯体に取り付けてからガラスを建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書とホルダー部品セットをお渡してください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
- オペレーターは枠の組立て後、ガラスの建込み前に取付けしてください。

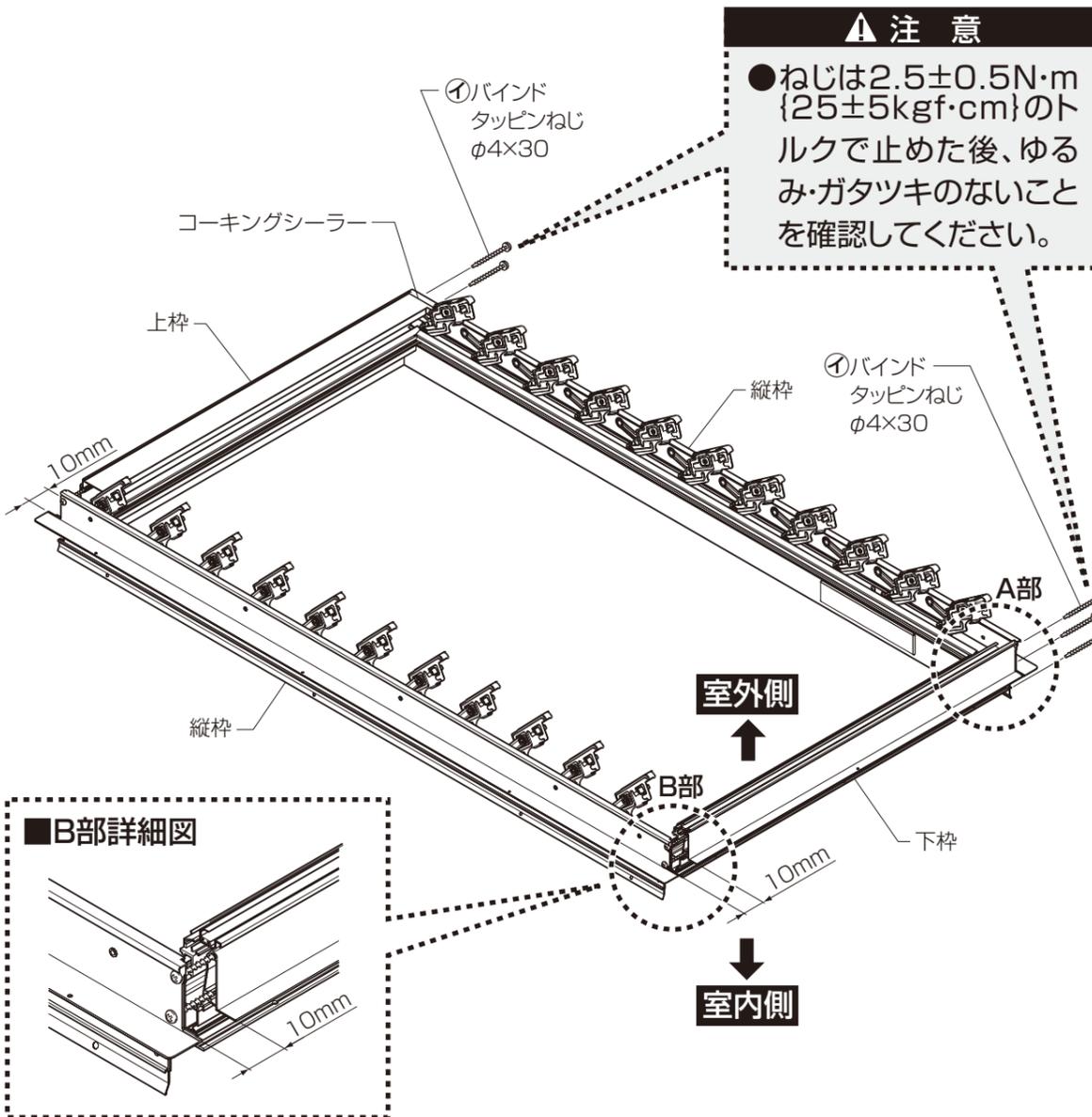
■部品・ねじ一覧表

記号	枠の組立て	ホルダー部品セット		ガラス(別売り)	
	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪
姿図	 バインドタッピングねじ φ4×30	 ホルダー	 ホルダーキャップ	 室外側ガラス	 両側に部品あり 室内側ガラス

■組立て順序A「通常の組立て方法」

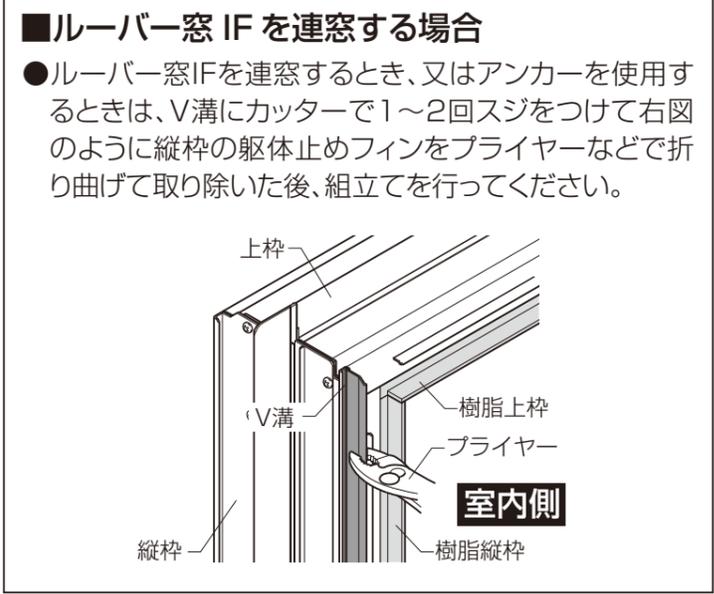
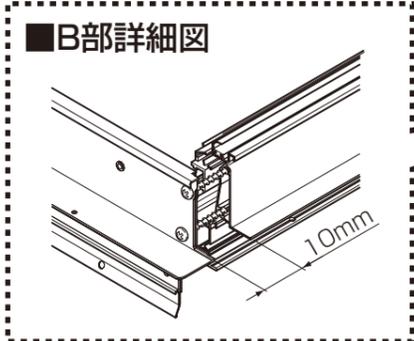
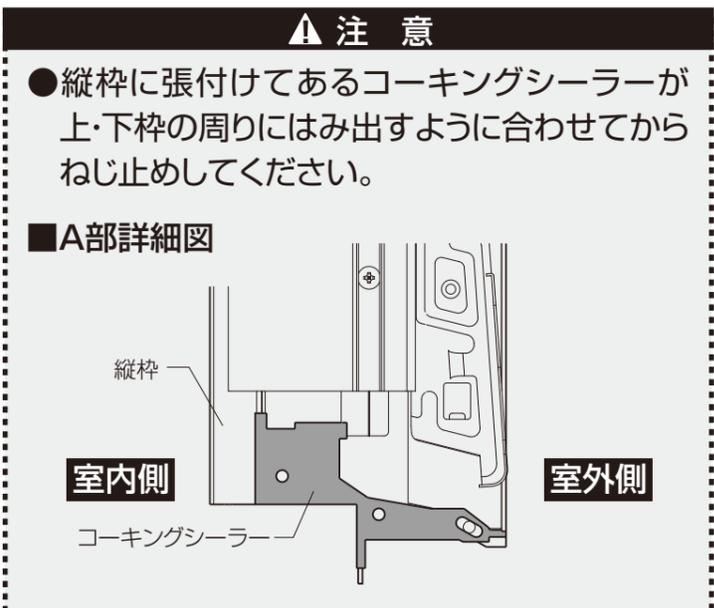
1 枠の組立て

●片側は縦枠と上下枠を10mmあけて仮組みしてください。



▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$
{ $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

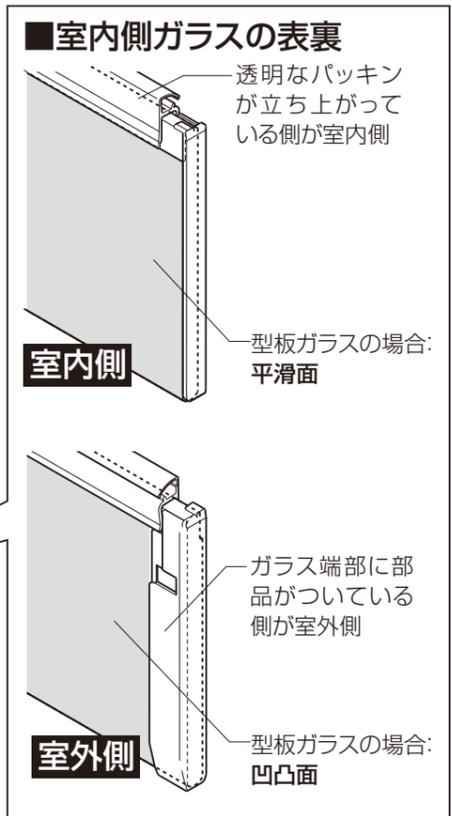
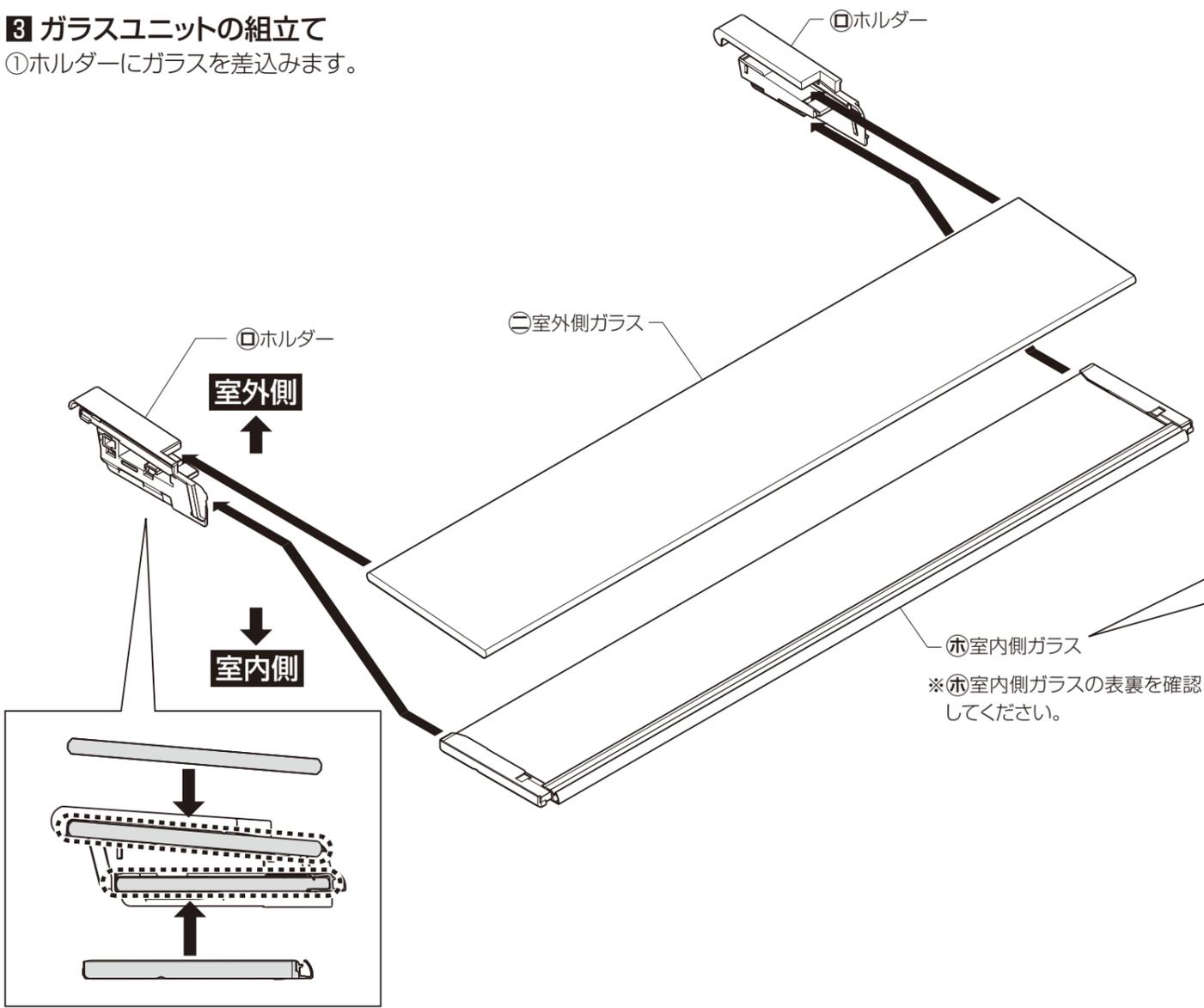


2 オペレーターの取付け

●部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

3 ガラスユニットの組立て

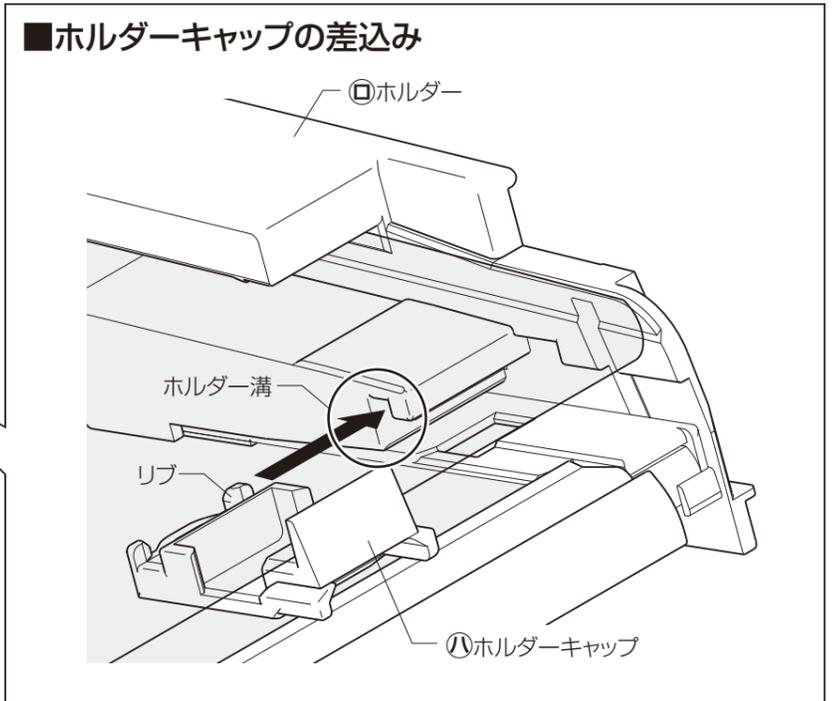
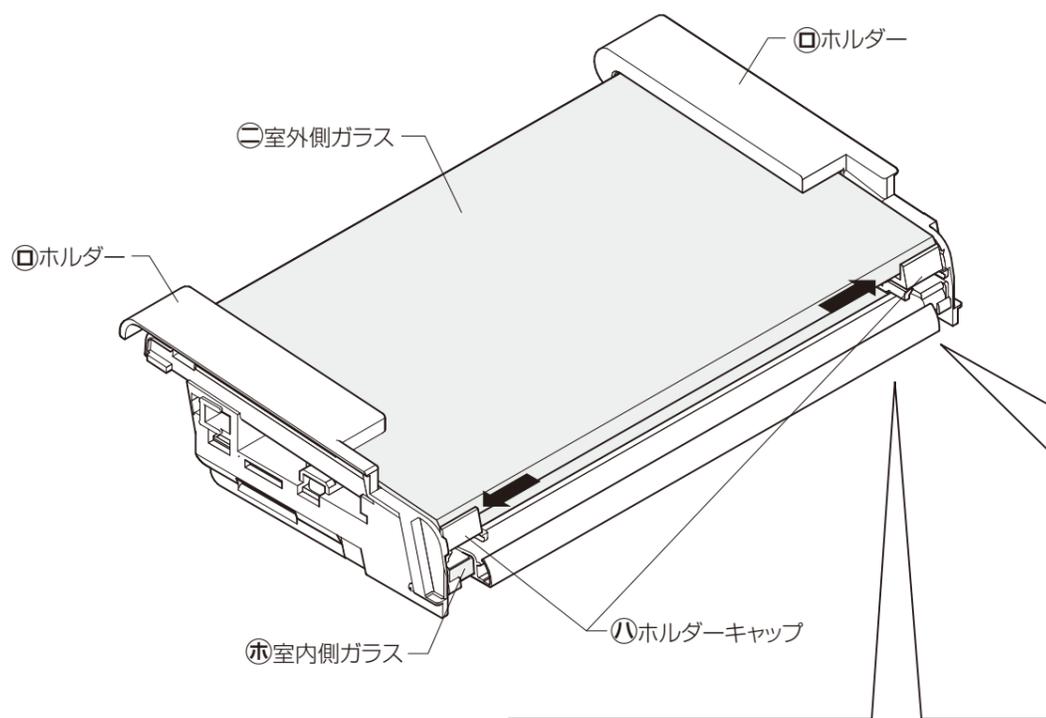
①ホルダーにガラスを差込みます。



※室内側ガラスの表裏を確認してください。

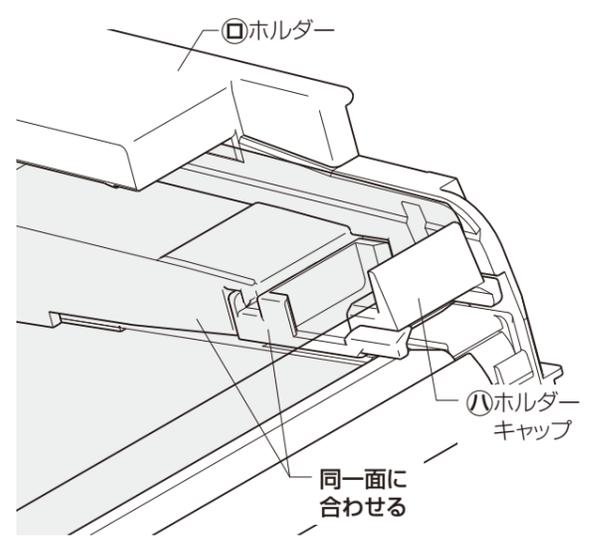
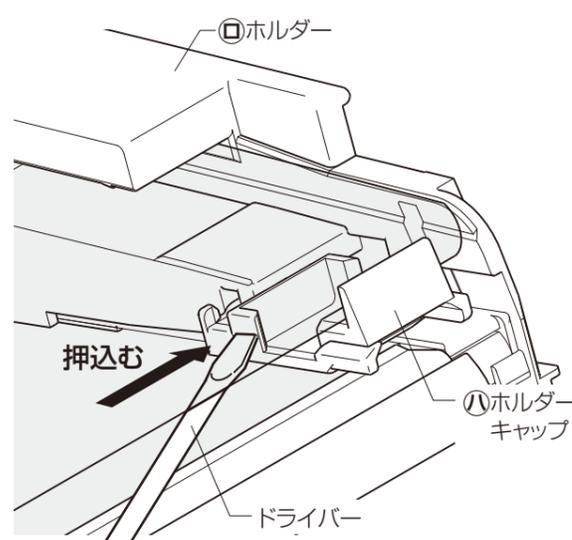
②ホルダーキャップの取付け

- (①) 下図の要領で、④ホルダーキャップを⑤室内側ガラスと⑥室外側ガラスの間に差込みます。
 (②) ホルダー側へ移動させ、ホルダー溝と④ホルダーキャップのリブ位置を合わせます。



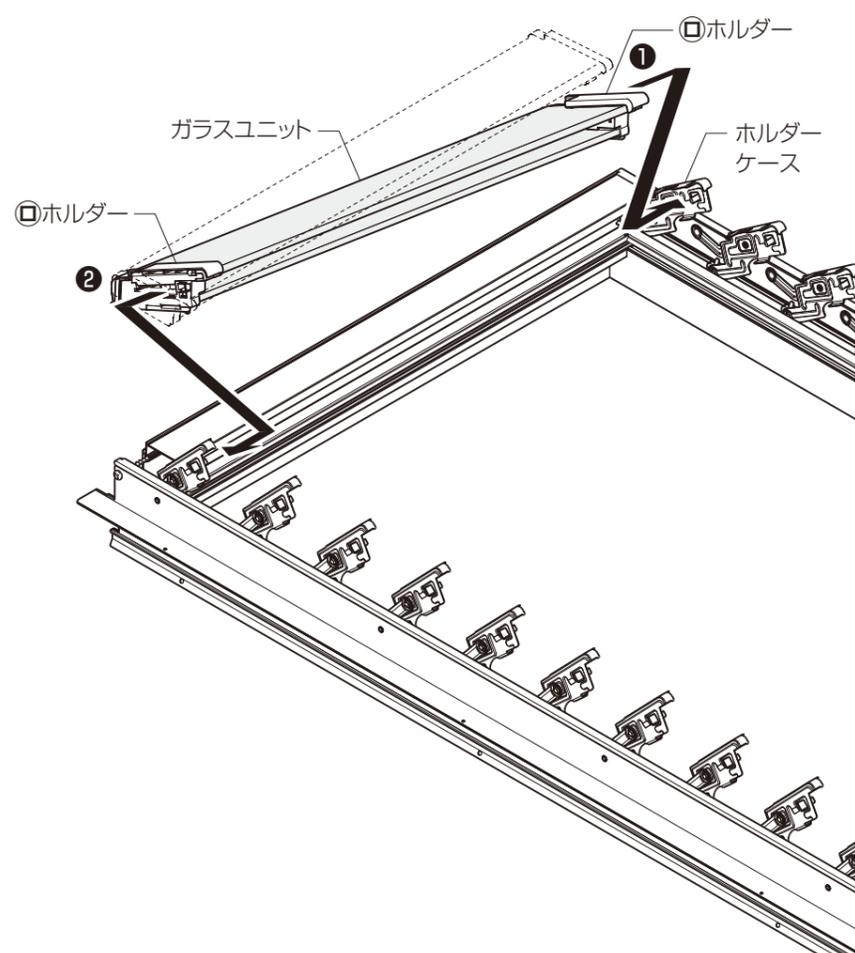
- (③) ドライバーなどの先の尖ったもので、④ホルダーキャップを④ホルダーへ押し込みます。
 「カチッ」という音が鳴って、④ホルダーと④ホルダーキャップ側面が同一面になるようにしてください。

■ホルダーキャップの押し込み

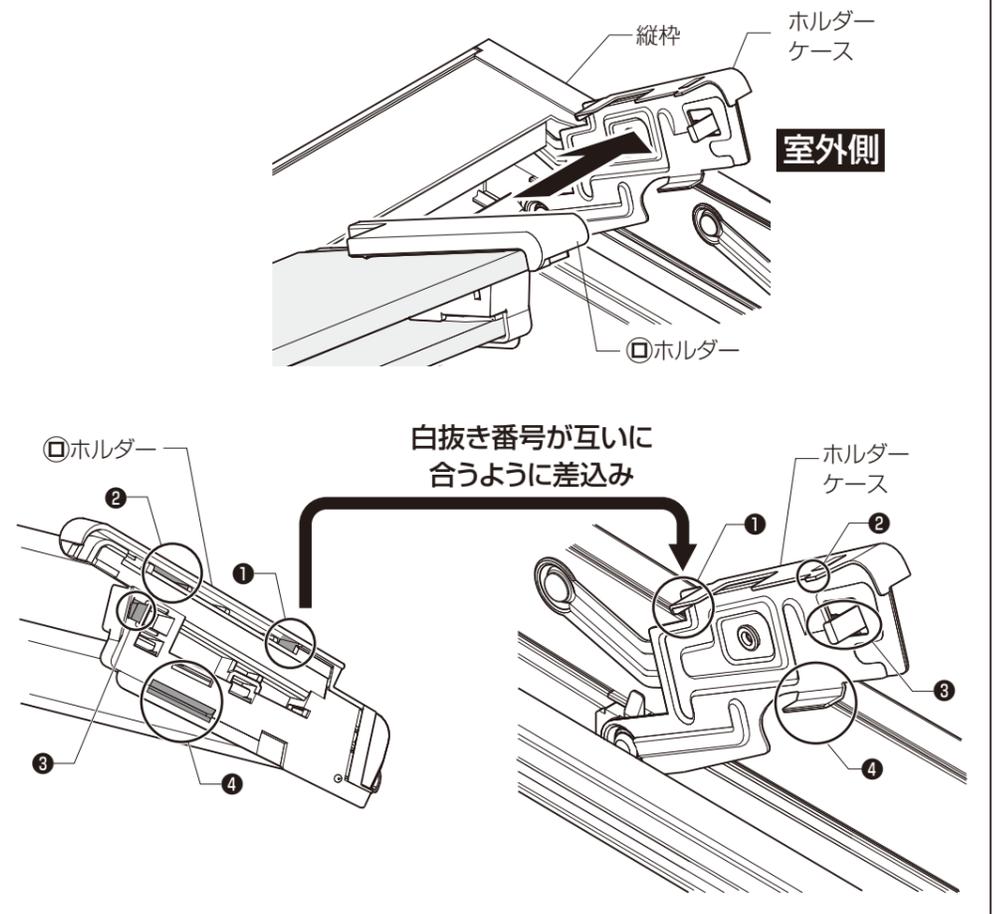


4 ガラスユニットの取付け

- ①ホルダーケースを開いた状態にします。
 ②下図の要領で、ガラスユニットをホルダーケースに差込みます。
 ③すべてのホルダーケースに同様の手順でガラスユニットを取付けてください。



■ホルダーの差込み



5 枠のねじ止め

① 1で仮組みしていた縦枠と上下枠をねじ止めします。

▲ 注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

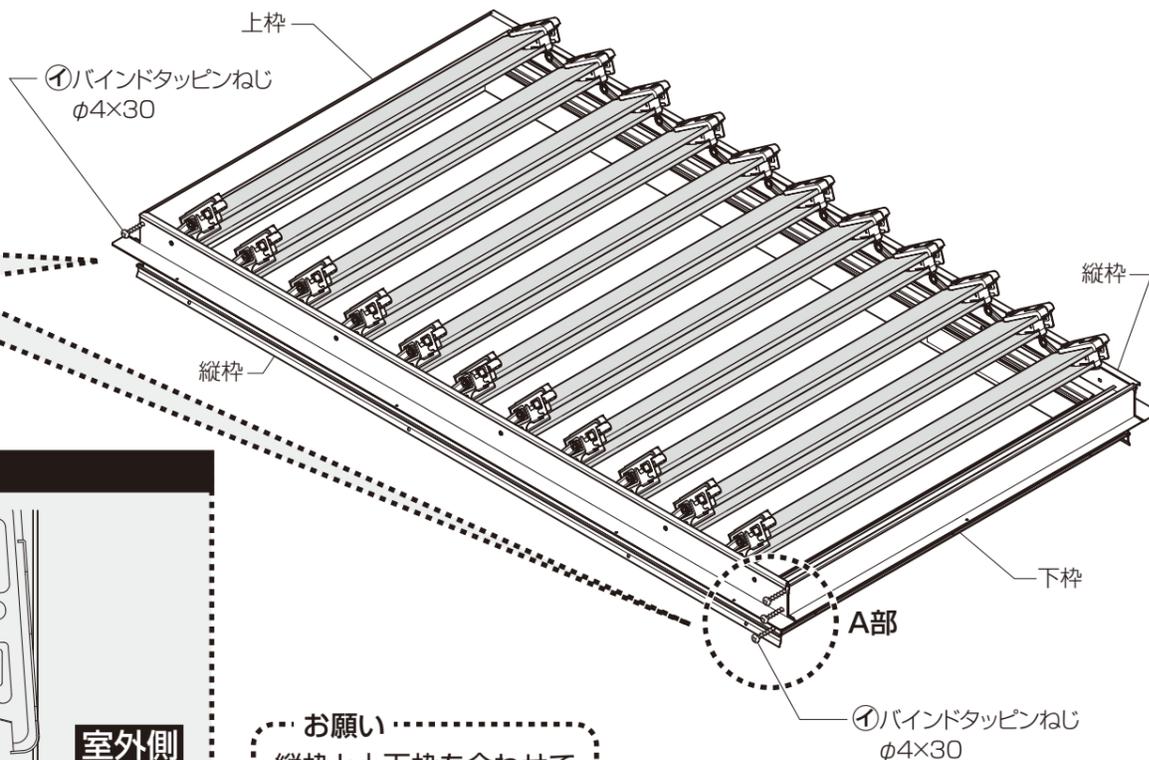
▲ 注意

●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■ A部詳細図

縦枠
コーキングシーラー
室内側
室外側

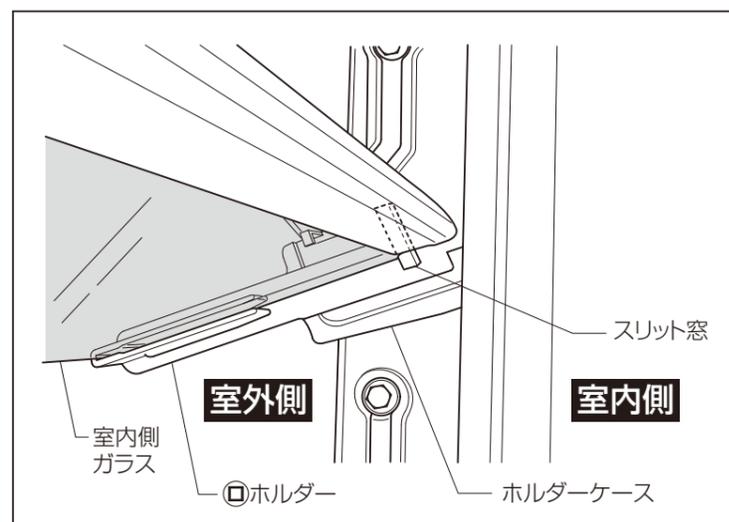
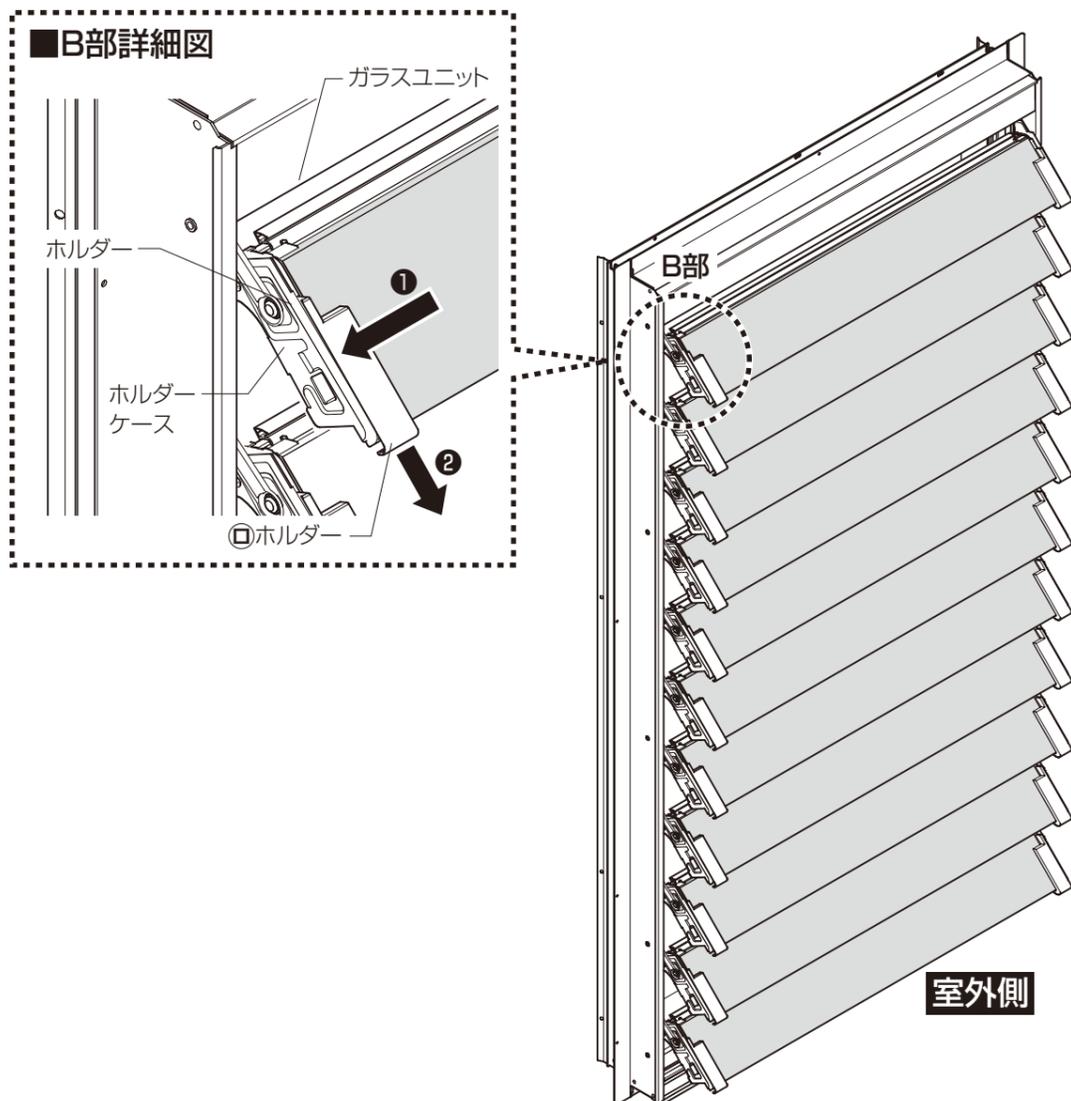
お願い
縦枠と上下枠を合わせてからねじ止めしてください。



6 ホルダーとホルダーケースの固定

※サッシ本体を立てた状態で固定してください。

- ①ホルダーをホルダーケースに奥まで押し込んで、矢印方向(室内側)に押し下げます。
- ②全ての箇所を固定します。
- ③ホルダーのスリット窓からホルダーケース(金属)が見えて差込まれていることを確認してください。



■ ガラスの取外し

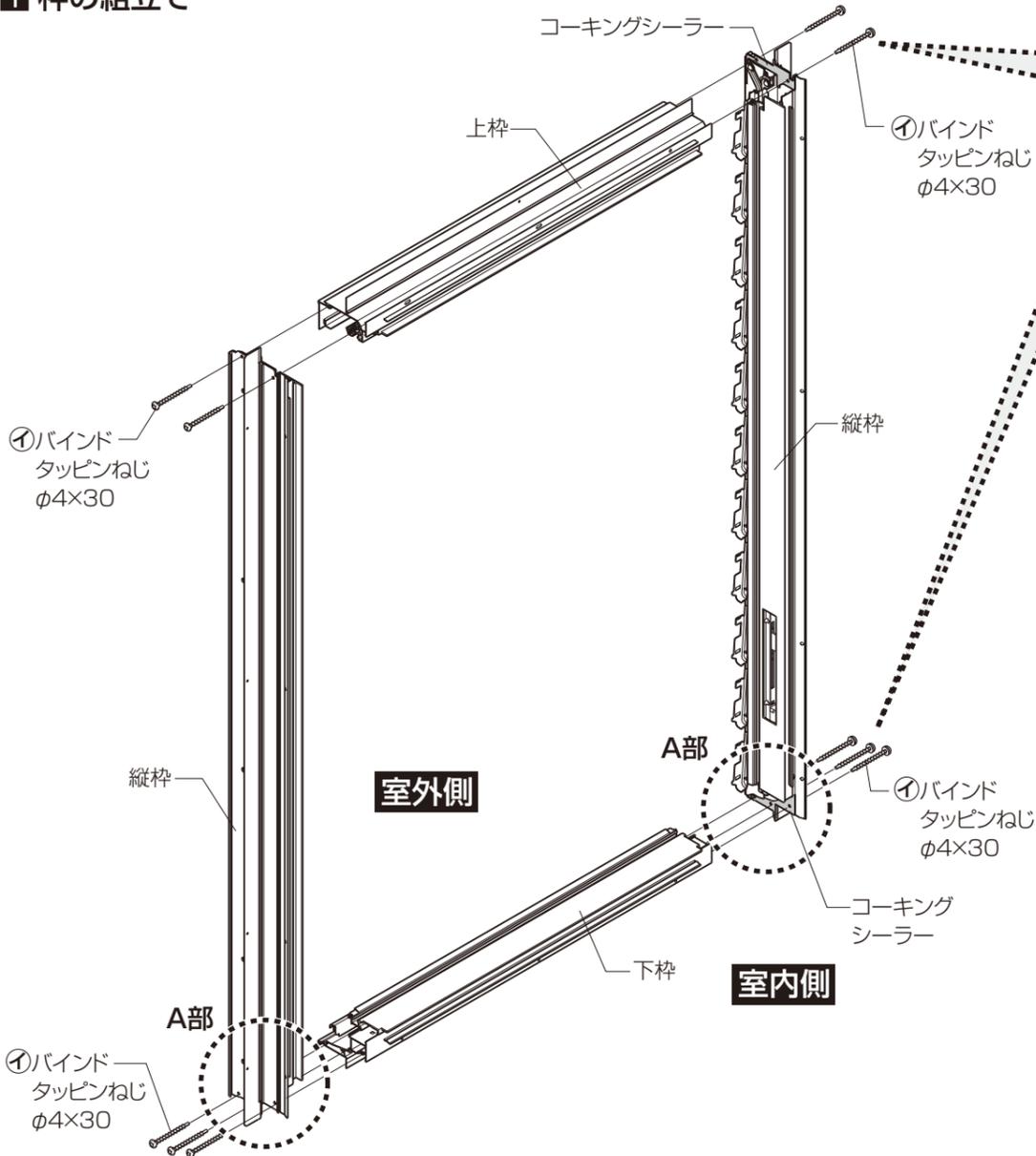
●組立て順序Bをご覧ください。

■ ハンドルの左右交換方法

●組立て順序Bをご覧ください。

■組立て順序B「枠を躯体に取付けてからガラスを建込む場合の組立て方法」

1 枠の組立て



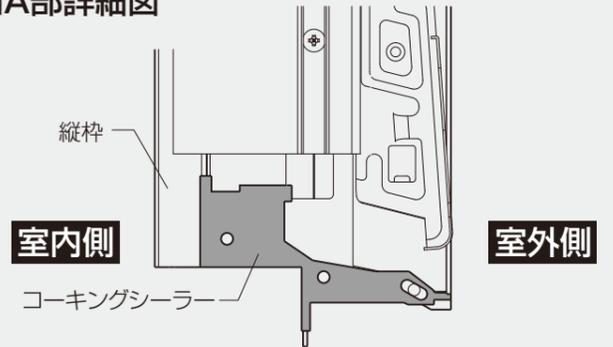
▲ 注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

▲ 注意

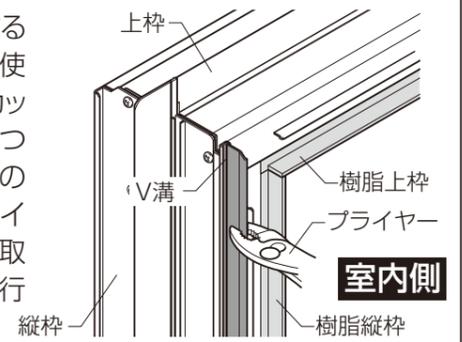
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図



■ルーバー窓IFを連窓する場合

●ルーバー窓IFを連窓するとき、又はアンカーを使用するときは、V溝にカッターで1~2回スジをつけて右図のように縦枠の躯体止めフィンをプライヤーなどで折り曲げて取り除いた後、組立てを行ってください。

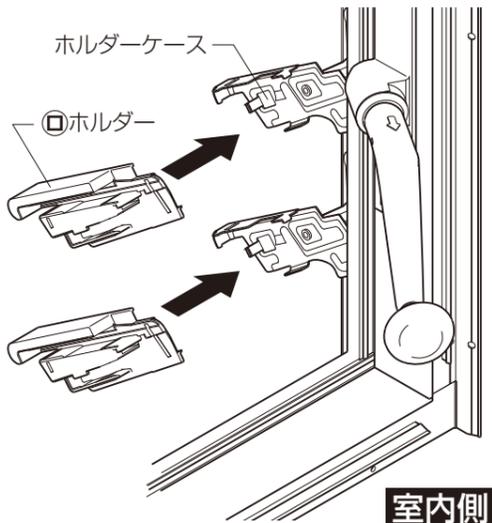


2 オペレーターの取付け

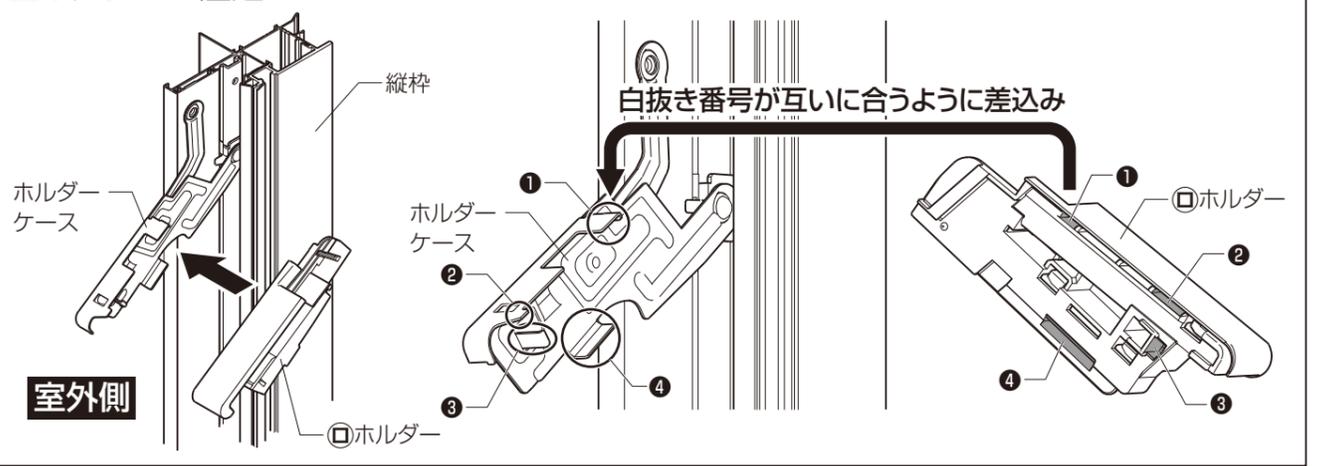
- 部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 本説明書では、オペレーターハンドルにて説明します。滑車、電動ユニットの場合は回転数と角度を参考に「4 ガラスの建込み」を行ってください。

3 ホルダーの取付け

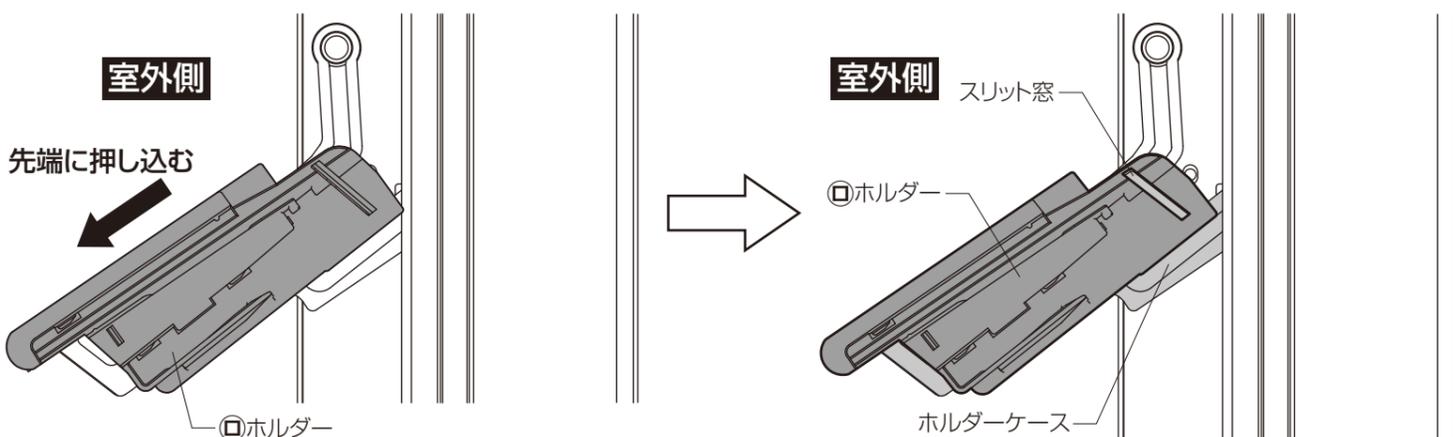
- ①ホルダーケースを開いた状態にします。
- ②下図の要領で、ⓐホルダーをホルダーケースに差込みます。



■ホルダーの差込み



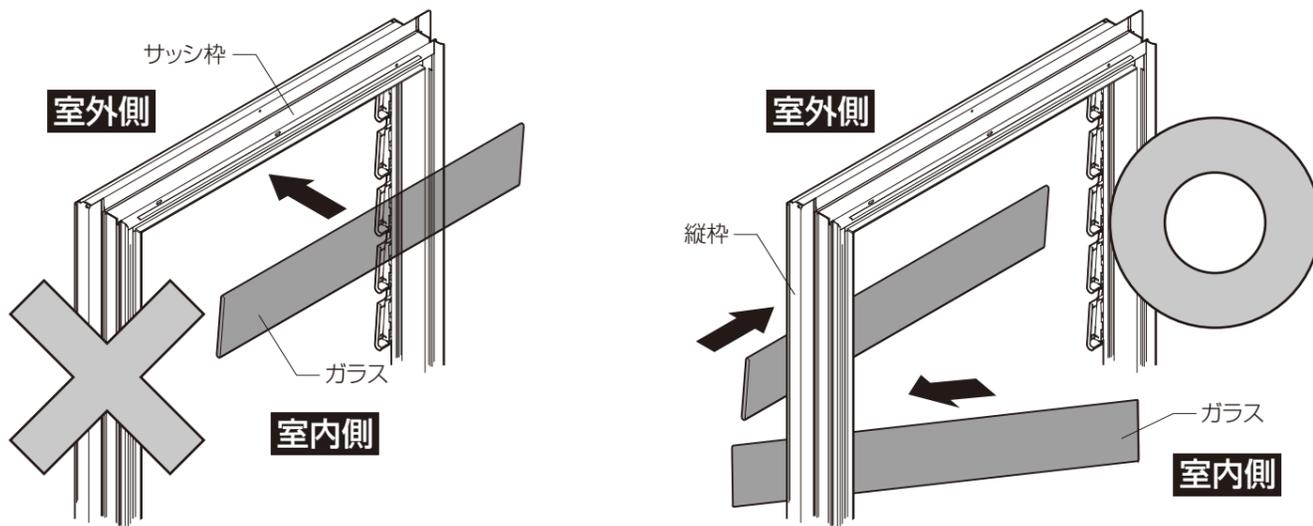
- ③奥まで入ったら、矢印方向(先端)に押し込みます。押し下げると「カチッ」と音がします。
- ④ⓐホルダーの斜めのスリット窓から、ホルダーケース(金属)が見えて差込まれていることを確認してください。



4 ガラスの建込み

…お願い

- ルーバー窓IFは、ホルダーが室内側正面から見えない構造となっており、枠の内法寸法より大きいガラスを使用します。そのため、ガラス建込みの際には、縦枠を逃げながら、一度ガラスを外に出して、建込みを行ってください。

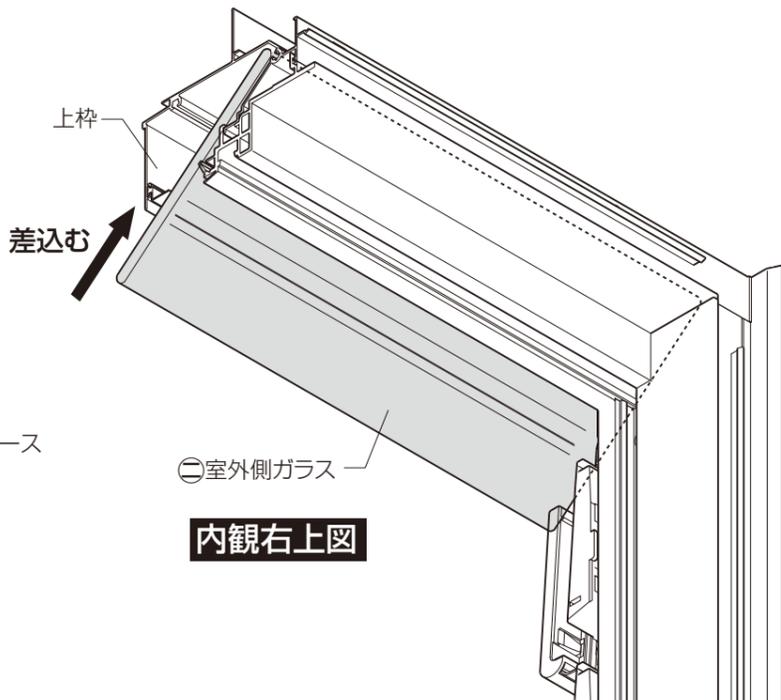
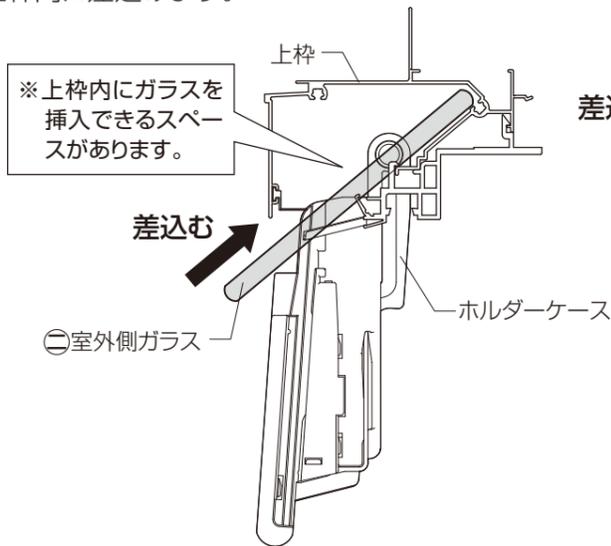
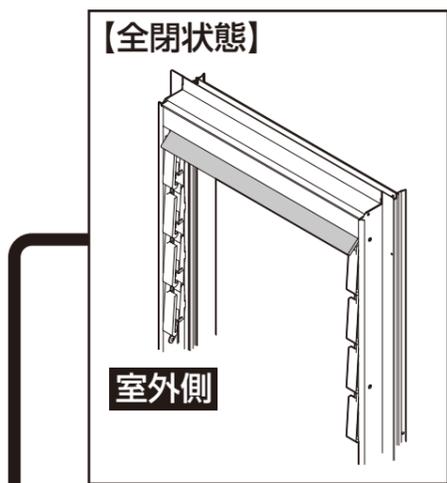


4-1 室外側ガラスの建込み(最上段)

ポイント

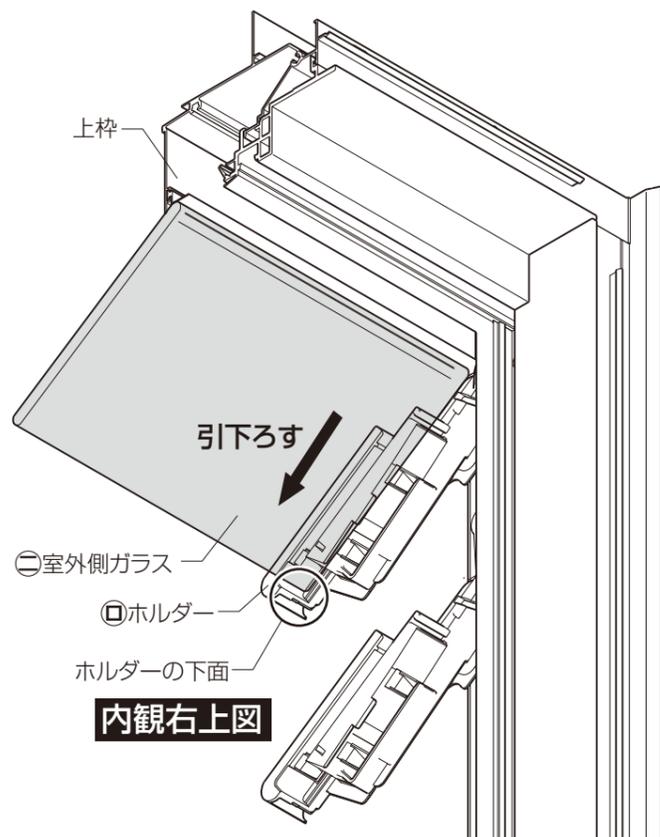
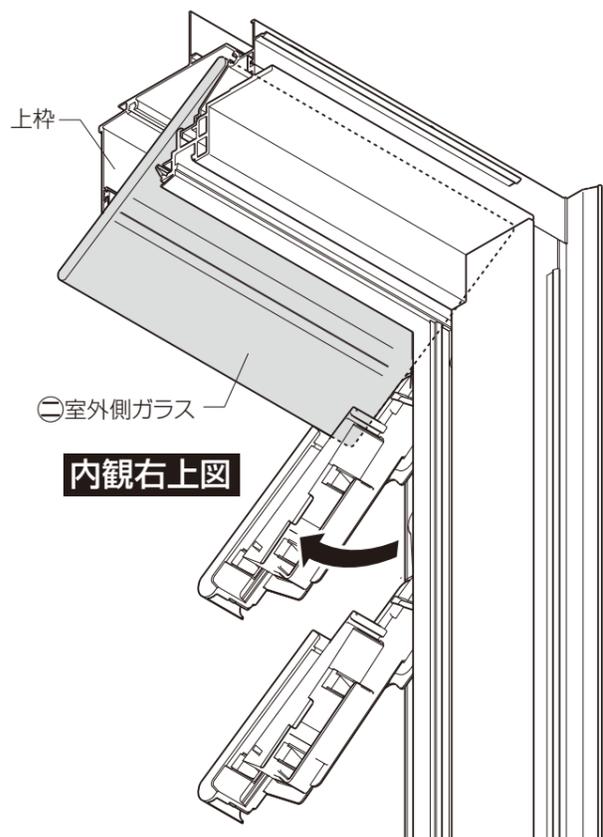
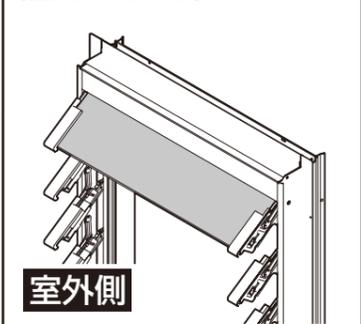
※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。左の矢印が一連の流れです。

- ①オペレーター操作で、全閉状態にします。
- ②オペレーターと逆側は、この時点でオペレーター操作では開閉できませんので、手で全閉状態にします。
- ③⊖室外側ガラスを下図の要領で、上枠内に差込みます。



- ④⊖室外側ガラスを支えたまま、オペレーターを8回転させて、ホルダーケースを開きます。オペレーターと逆側のホルダーケースは手で同じ角度にします。
- ※⊕ホルダーと⊖室外側ガラスが干渉しないよう気をつけてください。ガラスに無理な力が加わると、破損するおそれがあります。
- ⑤⊖室外側ガラスと⊕ホルダーの溝が平行になったら、⊕ホルダーの下面までくるようにガラスを引き下ろします。

【オペレーター8回転状態】
(全閉状態より)

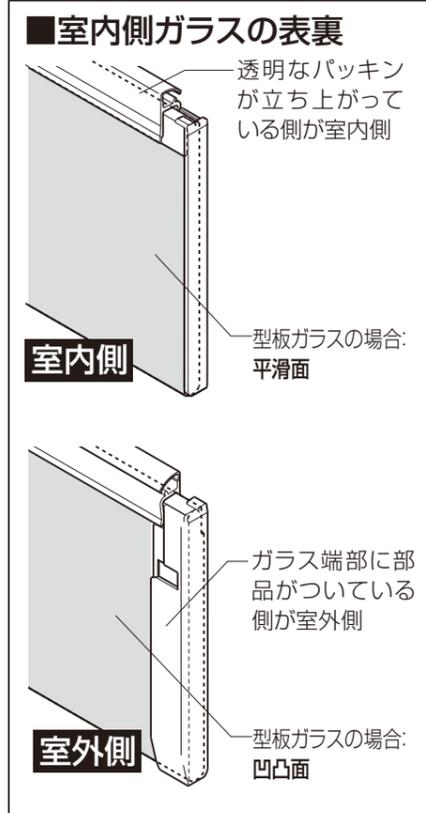
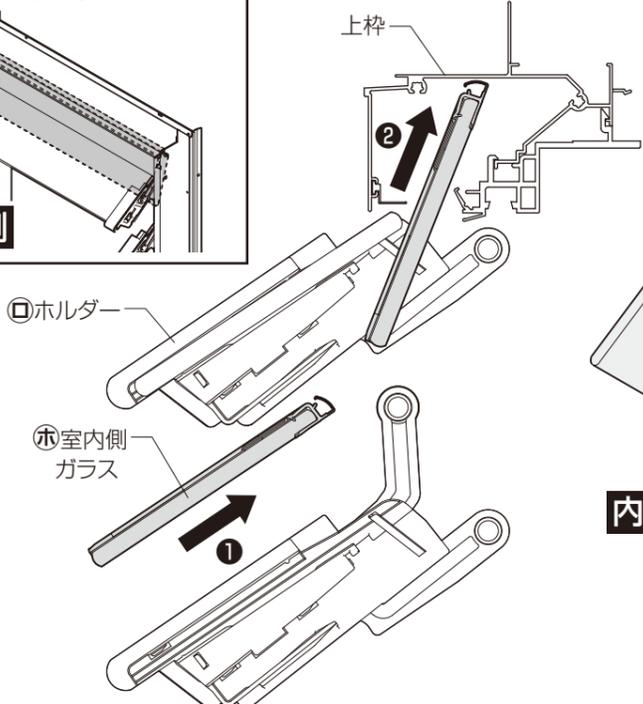
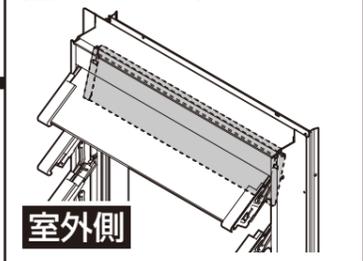


4-2 室内側ガラスの建込み(最上段)

ポイント
 ※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。左の矢印が一連の流れです。

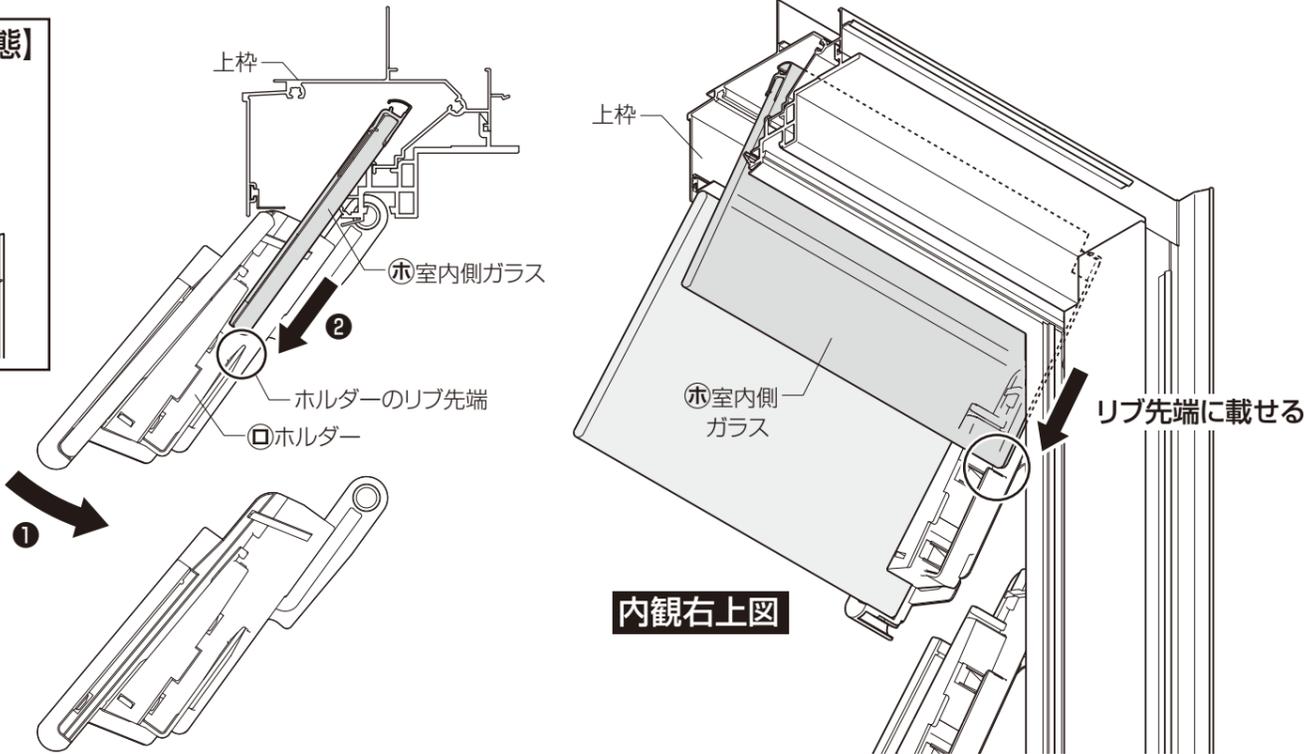
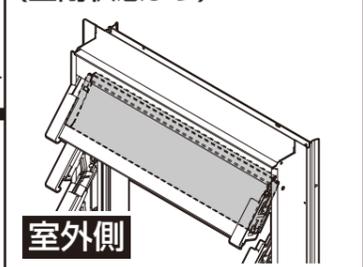
① ①ホルダーはこの角度を保ったまま、②室内側ガラスを下図の要領で、上枠内に差込みます。
 ※②室内側ガラスの表裏を確認してください。

【オペレーター8回転状態】
 (全閉状態より)



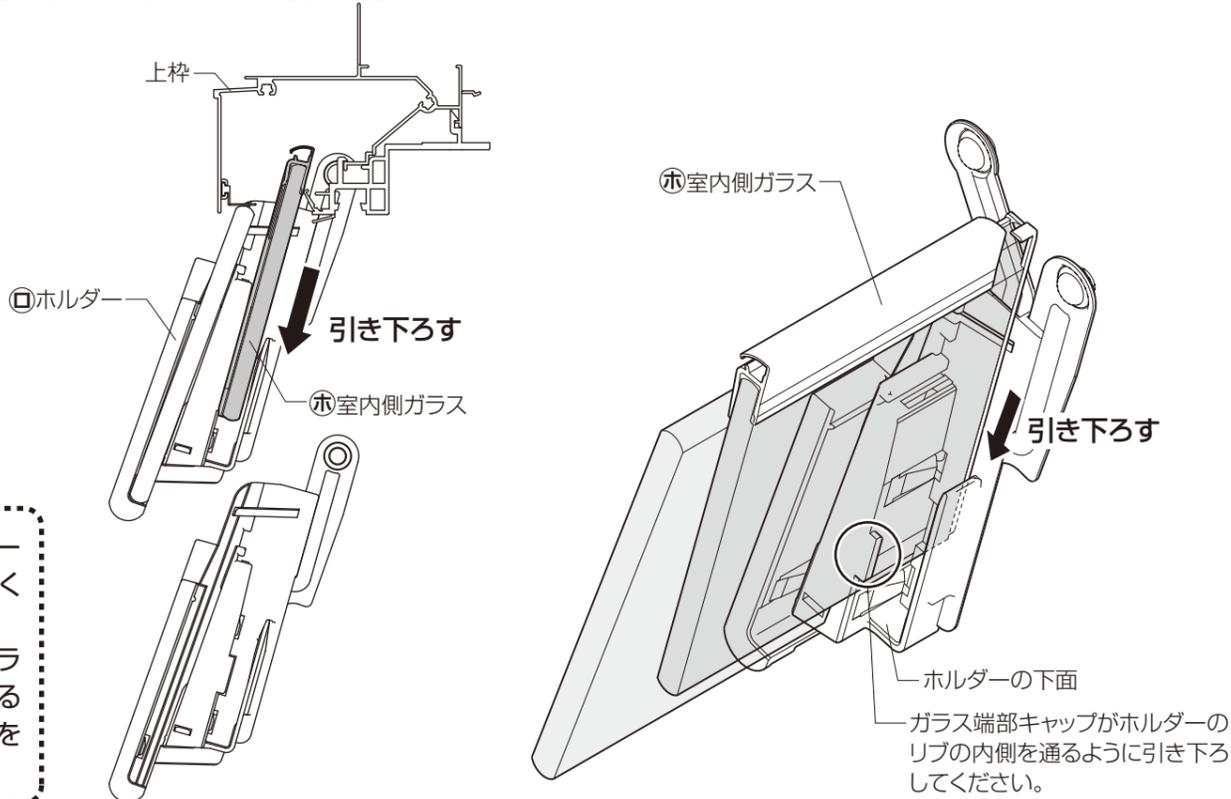
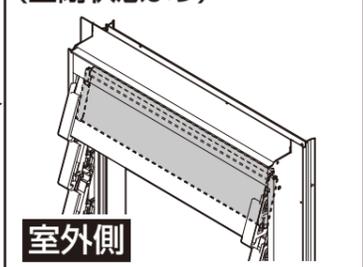
② オペレーターを3回戻します。(全閉状態からは5回転開いた状態) ①ホルダーのリブ先端がガラス下部を乗り越えたら、その先端に②室内側ガラスをのせてください。

【オペレーター5回転状態】
 (全閉状態より)



③ 更にオペレーターを3回戻したら、ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。

【オペレーター2回転状態】
 (全閉状態より)

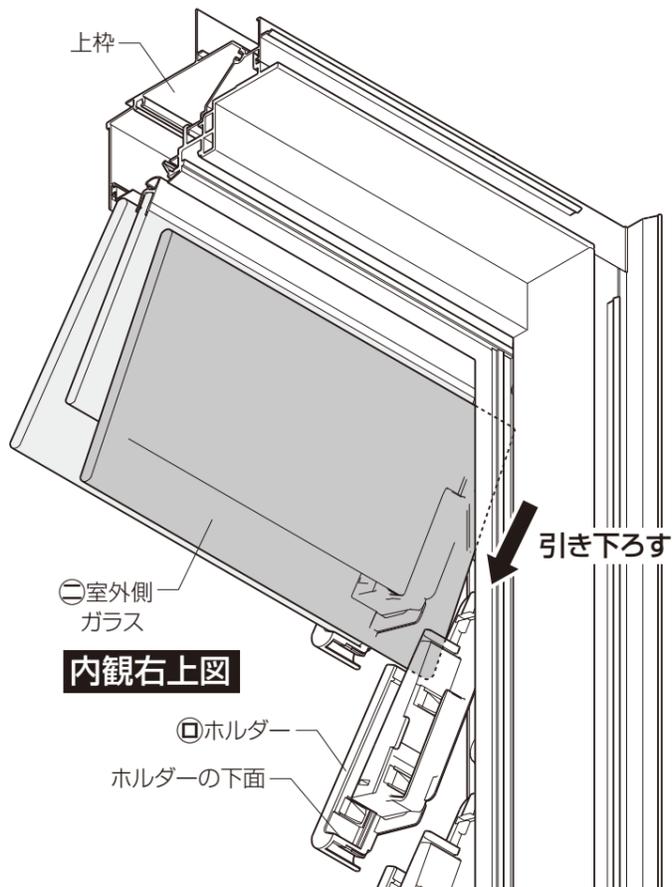
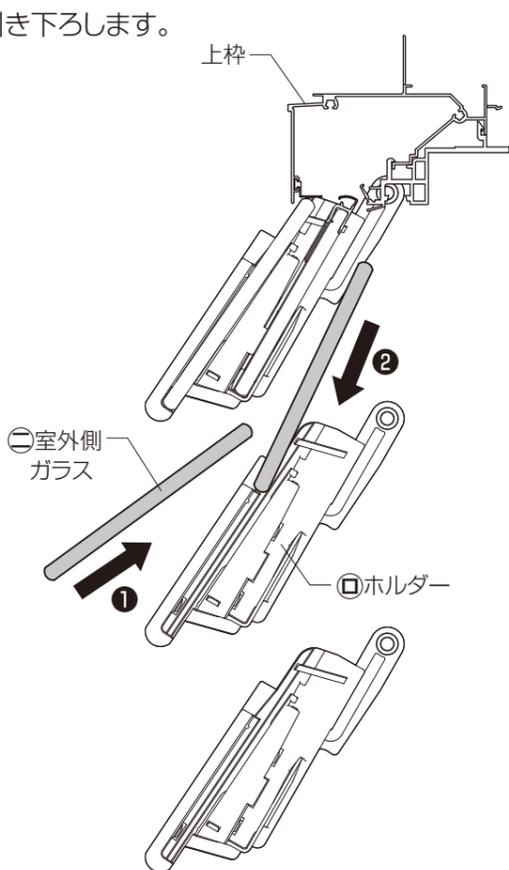
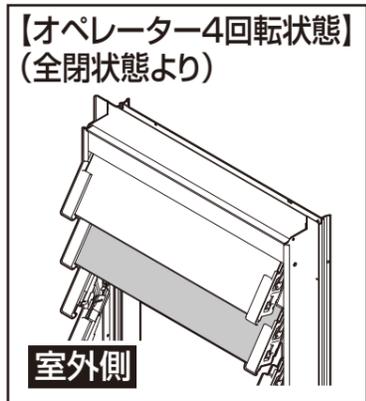


お願い
 ※上枠の気密材がめくれる場合は、オペレーターでガラスに負荷がかからない程度に開閉してください。
 ※2段目のガラスが入っていると、最上段のガラスの建込みができません。2段目が入っている場合は、2段目を取外した上で、最上段ガラスを建込んでから、2段目を取付けてください。

4-3 室外側ガラスの建込み(2段目より下のガラス)

※1段ごとに室外・室内の順で建込みます。

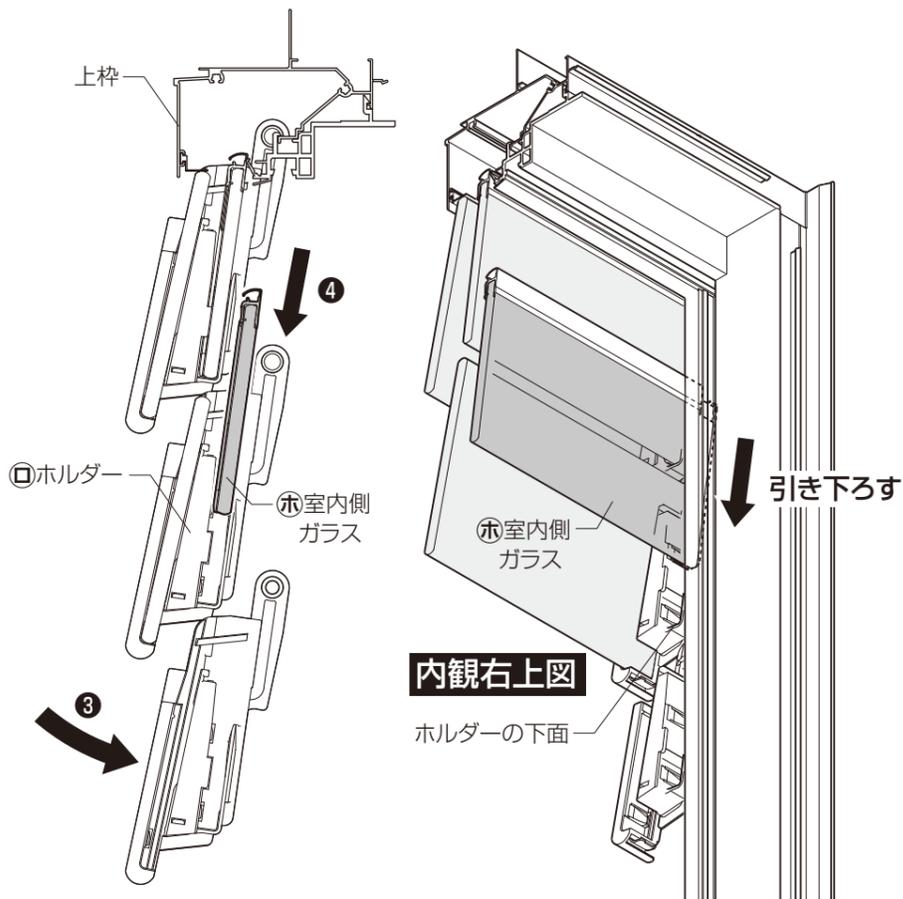
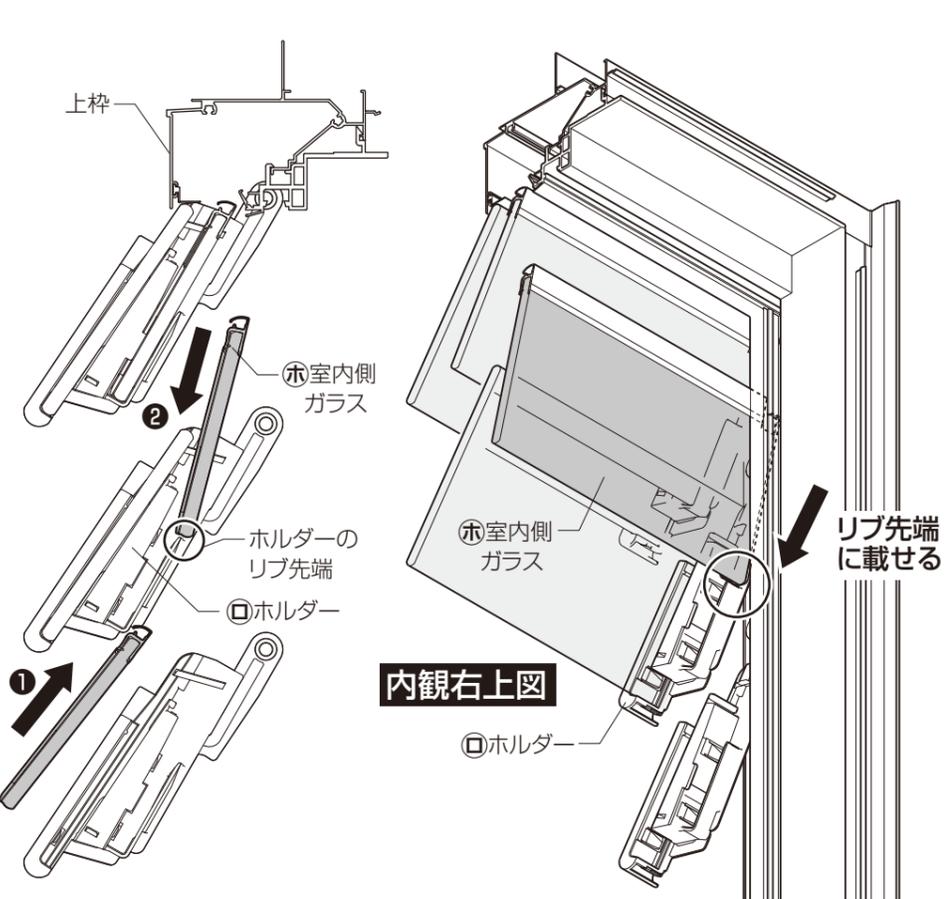
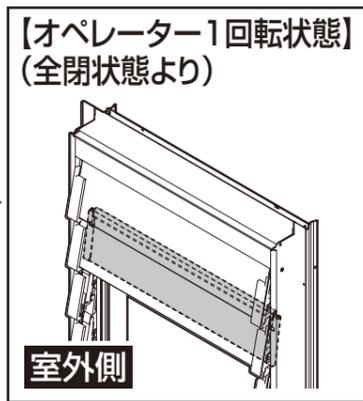
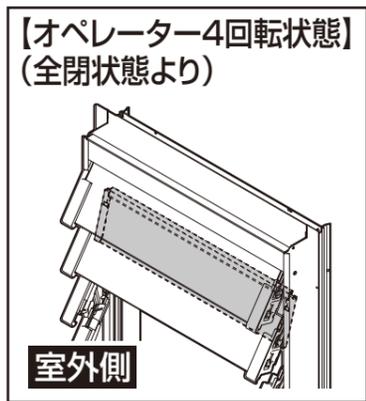
- ①オペレーター操作で、2回転させてホルダーケースを開きます。(全閉状態からハンドルを4回転開いた状態)
- ②下図の要領で、⊖室外側ガラスを⊕ホルダーに差込みます。
- ③⊕ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。



4-4 室内側ガラスの建込み(2段目より下のガラス)

ポイント
※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。下の矢印が一連の流れです。

- ①⊕ホルダーの角度はそのまま、(全閉より4回転の位置)で下図の要領で⊕室内側ガラスを差込みます。
- ②下図の要領で、⊕室内側ガラスを⊕ホルダーに載せます。
- ③オペレーターを3回転閉める方向(全閉より1回転)に回して、⊕ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。

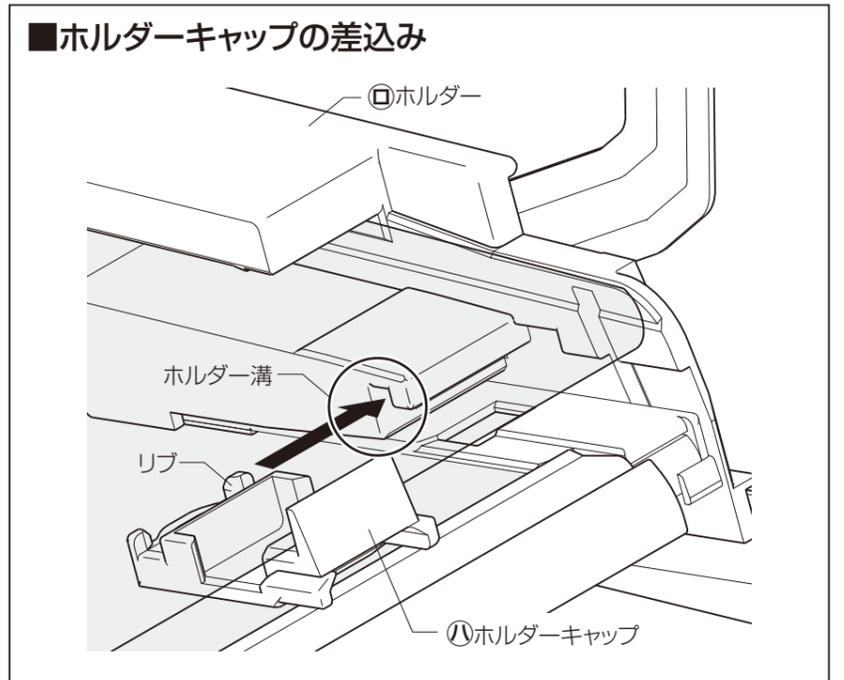
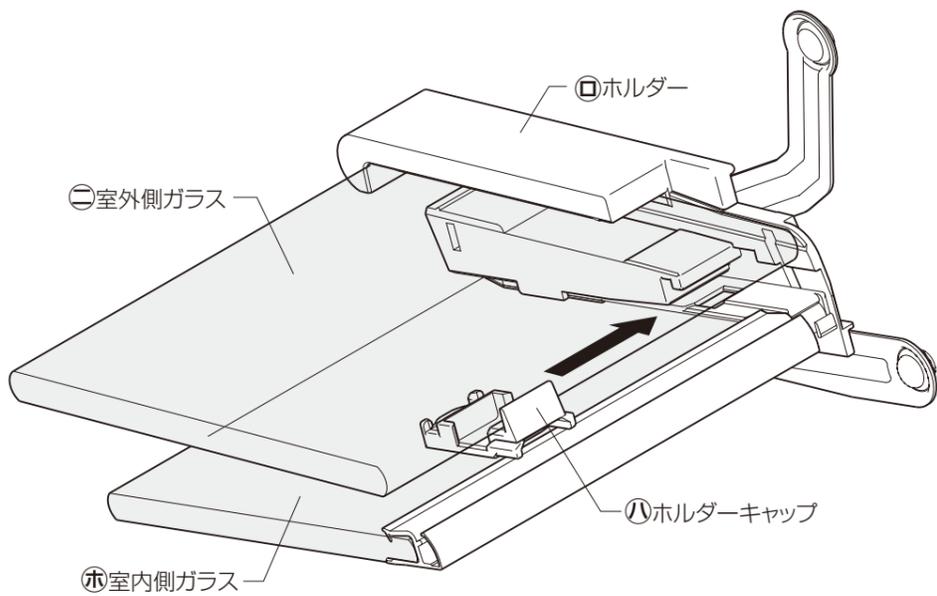


※4-3、4-4を繰り返して全段ガラスを入れます。

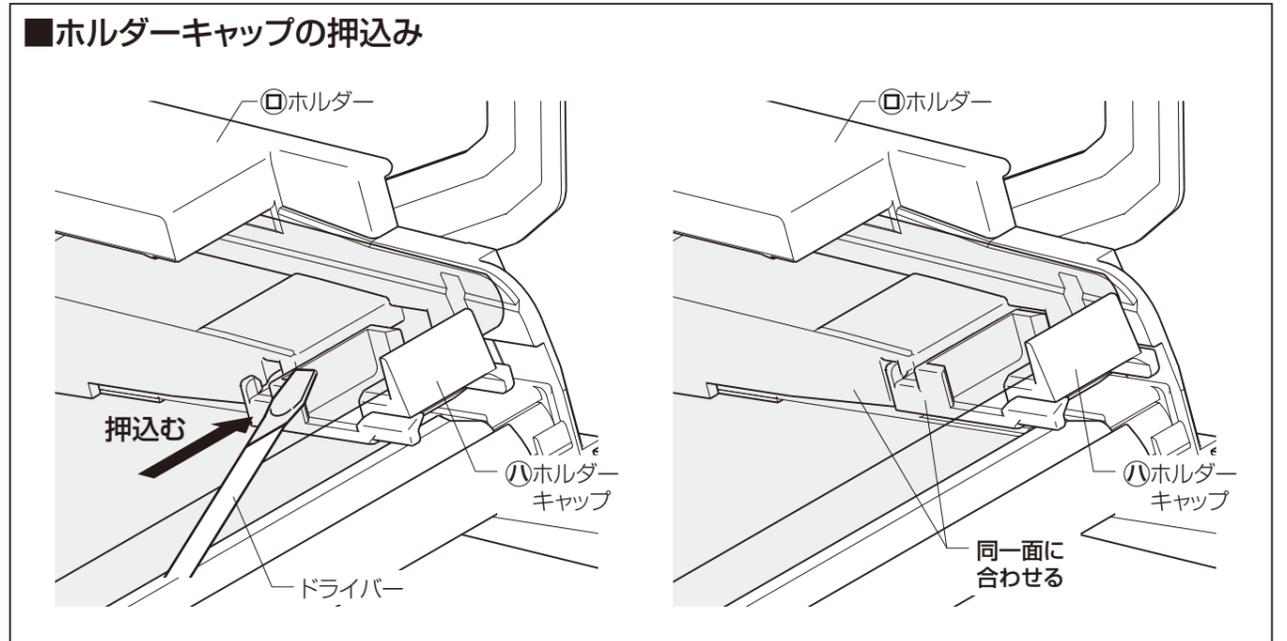
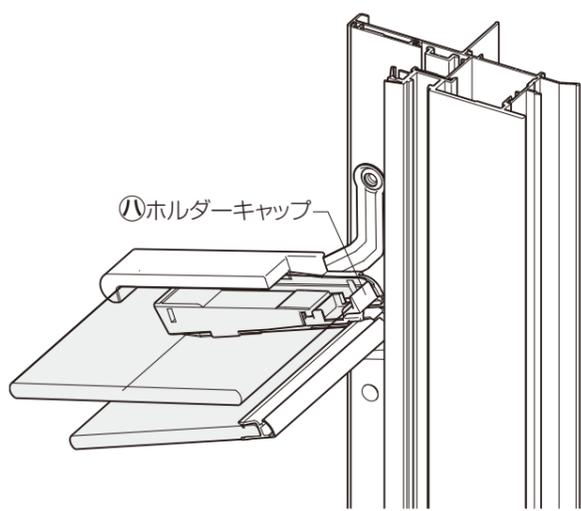
5ホルダーキャップの取付け

※サッシ本体を立てた状態で取付けを行ってください。

- ①オペレーター操作で、ガラスを全開にします。
- ②下図の要領で、㊦ホルダーキャップを㊧室内側ガラスと㊨室外側ガラスの間に差込みます。
- ③ホルダー側へ移動させ、ホルダー溝と㊦ホルダーキャップのリブ位置を合わせます。

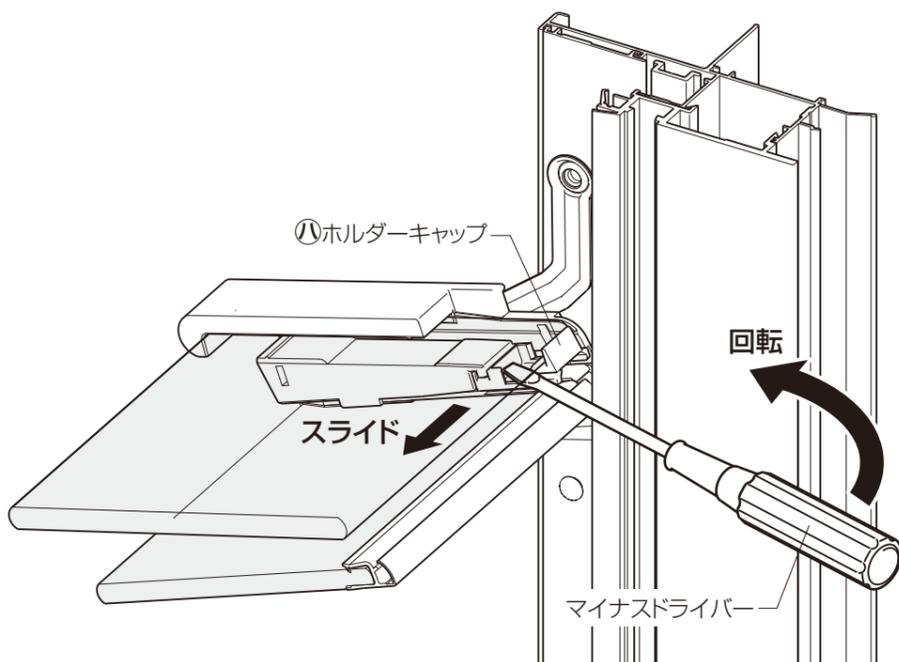


- ④ドライバーなどの先の尖ったもので、㊦ホルダーキャップを㊩ホルダーへ押し込みます。「カチッ」という音が鳴って、㊩ホルダーと㊦ホルダーキャップ側面が同一面になるようにしてください。



■ガラスの取外し

- 取外しの場合は、5⇒4の順で取外してください。
- 最上段ガラスを取外す場合は、その一段下のガラスを取外してから最上段ガラスを取外してください。
- ㊦ホルダーキャップの取外し要領は以下の手順になります。マイナスドライバーなどで、㊦ホルダーキャップ側面に差込み、テコの原理で回転させる方向に力を加えながら、ガラス中央へスライドさせてください。



■ハンドルの左右交換方法

- ガラスを建込み後、ハンドルを左右入れ替える場合は、全閉状態よりオペレーター2回転の状態で行ってください。
- ※全閉や全開状態で実施すると、オペレーターを取外した際にガラスが自重で動くため、危険です。

